

株主通信

第120期

中間報告書

2023年4月1日から

2023年9月30日まで

技術を大切に

人を大切に

地球を大切に



株式会社 タクマ

証券コード：6013

株主の皆様へ



代表取締役社長

南條博昭

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2023年度は、長期ビジョン「Vision2030」と、その実現に向けたファーストステップである第13次中期経営計画（2021-2023年度）の最終年度にあたります。地球環境の保全に貢献できる誇りを胸に、お客様に寄り添い、リーディングカンパニーとして従来の枠にとられない発想と積極的な取り組みによりESG経営を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

タクマグループの主要事業においては、老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化対策、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など引き続き需要が見込まれており、第13次中計の目標達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

今後もお客様や社会とともに持続的に成長し、すべてのステークホルダーの皆様の満足を目指してまいりますので、タクマグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

長期ビジョン 「Vision2030」

ESG経営の推進によりお客様や社会とともに持続的に成長し、再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続ける。

⇒ 数値目標：
2030年度経常利益
200億円

第13次中期経営計画（2021～2023年度）

基本方針

経営基盤の強化により、各事業において従来のビジネスの一層の強化を図ると同時に、将来の環境変化への対応を加速させる。これらの事業活動を通じてESG経営を推進し、お客様や社会とともに持続的な成長を目指す。

⇒ 数値目標：

3か年累計で経常利益 **360**億円

ESG経営の推進

お客様や社会の課題解決に資する事業活動の展開

- | | |
|---------------|------------|
| ① 一般廃棄物処理プラント | ⑤ 海外事業 |
| ② 水処理プラント | ⑥ 新規事業 |
| ③ エネルギープラント | ⑦ 民生熱エネルギー |
| ④ 新電力事業 | ⑧ 設備・システム |



経営基盤の強化

人材	デジタル技術	研究開発、ものづくり力、エンジニアリング力
パートナーシップ	設備投資	コンプライアンス

2023年度（第120期）上半期の業績および今後の取り組み

2023年度（第120期）上半期における当社グループの経営成績は、受注高は主に環境・エネルギー（国内）事業の増加により前年同期に比べ75億円増加の727億円、売上高は環境・エネルギー（国内）事業が減少した一方で他の事業のセグメントが増加したことにより、前年同期並みの659億円となりました。

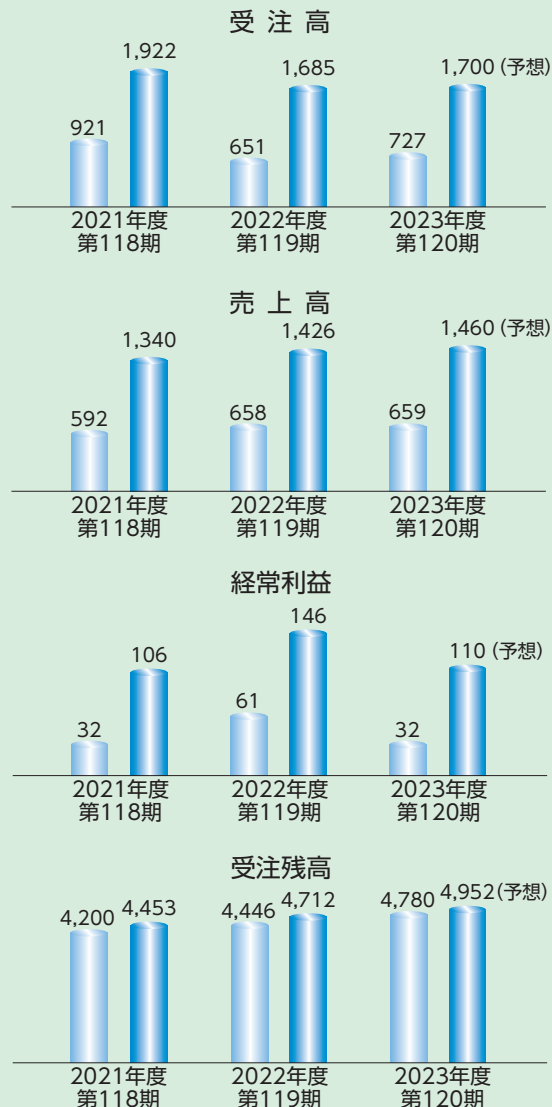
損益面においては、環境・エネルギー（国内）事業の減益により、前年同期に比べ営業利益は29億円減少の27億円、経常利益は29億円減少の32億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億円減少の19億円となりました。

2023年度（第120期）通期の予想は、受注高は1,700億円、売上高は1,460億円を見込んでおり、従前の予想から変更はありません。一方、損益面につきましては、受託しているごみ処理プラント（ガス化溶融炉）のO&Mにおいて、設備の不具合が発生し、当第2四半期連結累計期間に、復旧に向けた対策費用を計上した影響から、営業利益が103億円、経常利益が110億円、親会社株主に帰属する当期純利益が77億円といずれも従前の予想を下回る見通しです。

配当につきましては、中間配当金を期初予想通り1株24円とさせていただきます。2023年度期末配当金につきましても24円を予定し、年間配当金は合計48円とさせていただきます予定です。

業績の推移（連結）

■ 上半期 ■ 通期 （単位:億円）

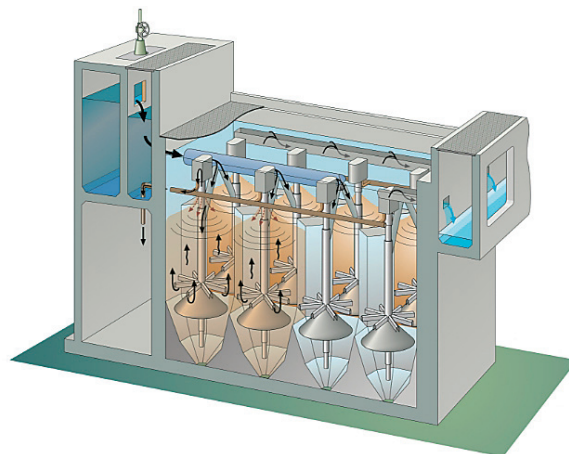


水再生センター砂ろ過設備の更新工事を受注 (東京都下水道局向け)

当社は、東京都下水道局より「落合水再生センター砂ろ過機械設備再構築その2工事」（以下、「本工事」）を受注しました。

全国には約2,200か所の下水処理施設がありますが、供用開始から15年以上経過した施設が9割を超えるなど老朽化が進んでおり、設備の更新需要が高まっています。落合水再生センターは、1987年に砂ろ過設備の運転を開始して以降、区域の下水を処理する他、再生水の一部を都心部ビルのトイレ洗浄や清流復活事業に利用するなど、水資源を有効活用し、都市の良好な水環境に貢献しています。本工事では、2021年12月に受注した同施設向け工事に続いて、下水の高度処理を行う老朽化した砂ろ過設備を更新します。前工事の約13万 m^3 /日と合わせて、全量ろ過水量としては日本最大の34万 m^3 /日となります。

今回納入する高速上向流移床型砂ろ過設備は、コンパクトながら従来の2-3倍のろ過能力があります。既存の固定床式砂ろ過設備をそのまま更新する場合に比べ、設置池数の削減や工期短縮を図りながら、工事期間中も通常の処理水量を維持したまま更新することが可能です。当社の常に安定したろ過性能を発揮できる設備と、日常運転の制約を最小限に抑えた更新工事により、安定的な水処理を継続いただくことで、同区域の水環境の保全に貢献します。



砂ろ過設備

事業の概要

発注者	東京都下水道局
工事名	落合水再生センター砂ろ過機械設備再構築その2工事
工事内容	既存の固定床式砂ろ過設備から高速移床式砂ろ過設備への更新
施設規模	全体水処理量34万 m^3 /日のうち、21万 m^3 /日の更新
契約金額	47億5,000万円（消費税抜き）
契約工期	2023年8月～2028年2月

当社HPにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください

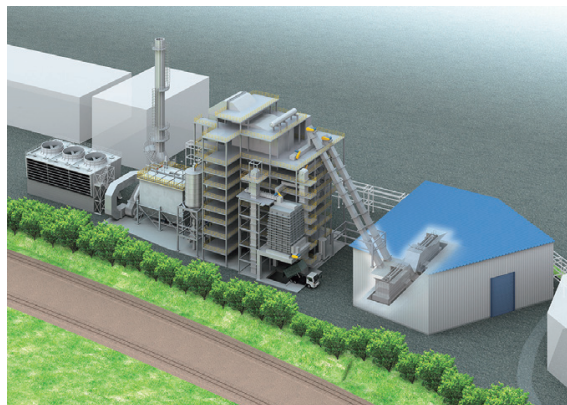


エネルギープラントの建設工事を受注 (新東海製紙株式会社 島田工場向け)

当社は、新東海製紙株式会社より、製紙系廃棄物と木質バイオマス燃料・RPF^(※1)を混焼し、同社島田工場（以下、「同工場」）にエネルギーを供給するプラントの建設工事を受注しました。

本事業は、一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）の省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業^(※2)の対象事業で、老朽化が進む同工場内の既存ボイラについて、製造時に発生する製紙系廃棄物と、木質バイオマスチップやRPFといった非化石エネルギーを使用するボイラに更新するものです。蒸発量を増加させ安定的にエネルギーを供給するとともに、重油使用量と購入電力の削減による省エネルギー化、CO₂の削減を図ります。

当社は今後も、本事業のような製紙系廃棄物やバイオマス、RPFといった様々な非化石エネルギーを有効活用するプラントをご提供し、お客様の省エネルギー化やCO₂削減の取り組みに貢献してまいります。



プラントイメージ

(※1)RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel)

古紙や廃プラスチック類を原料とする固形燃料

(※2)省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業

工場・事業場において、省エネ性能の高い機器や非化石エネルギーへの転換にも資する先進的な設備の導入に要する経費の一部を補助する事業
(執行団体：一般社団法人環境共創イニシアチブ)

事業の概要

発注者	新東海製紙株式会社
建設場所	静岡県島田市向島町4379番地（同社島田工場）
設備概要	エネルギープラント（ボイラ蒸発量：70t/h級）
用途	工場内で使用する蒸気の供給
処理物、燃料	製紙系廃棄物、木質バイオマスチップ、RPF
契約期間	2023年7月～2027年1月（竣工予定）

当社HPにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



水素焚 真空式温水発生機 「ゼロエミッション バコティンヒーター GTL-300ZE型」 販売開始

当社子会社の株式会社日本サーモエナーは、水素を燃料とした世界初^(※)となる水素焚 真空式温水発生機「ゼロエミッション バコティンヒーター」を開発しました。

本製品は、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に欠かせない水素を燃料として用いることで、燃焼の際CO₂を発生させません。新たな時代における『熱源装置の燃焼技術』の確立とCO₂排出量削減を推進するために開発したもので、2023年5月より販売を開始しています。

これまでの真空式温水発生機「バコティンヒーター」の燃料には、主に都市ガスやA重油などが用いられ、CO₂を排出していました。本製品はCO₂排出量が実質ゼロになることから、脱炭素社会の実現に貢献するものです。

(※) 株式会社日本サーモエナー調べ

当社HPにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



ゼロエミッション
バコティンヒーター
GTL-300ZE型

CO₂回収設備向け「CO₂濃縮型小型貫流ボイラ」を開発

株式会社日本サーモエナーは、日東電工株式会社協力のもと、高分子分離膜によるCO₂回収設備向けに、ボイラ排ガスのCO₂濃度を従来の約3倍に高めることが可能な「CO₂濃縮型小型貫流ボイラ」を開発しました。

排ガスからのCO₂回収は、事業用火力発電設備などの大規模な設備を中心に開発が進められていますが、小規模な民生用ボイラでは規模のメリットが得られず、CO₂回収設備のコストが大きくなりすぎる問題があります。この問題の解決に向けて、高分子分離膜によるCO₂回収設備向けにボイラ排ガス中のCO₂濃度を高められないかというニーズがあり、「CO₂濃縮型小型貫流ボイラ」の開発と技術検証を進めてまいりました。

従来のガス燃料焚き小型貫流ボイラの場合、排ガス中のCO₂濃度は9～10vol%程度で、CO₂濃度を高めるには自己の排ガスを再循環する必要がありますが、蒸気量の変動に追従しながら再循環により排ガスCO₂濃度を高めるのは難しい面がありました。

日本サーモエナーはこのような蒸気負荷の変動に追従する排ガス再循環制御システム（特許出願中）によってこの問題を克服し、CO₂濃度を25～30vol%（条件によっては最大50vol%）に濃縮して排出することに成功しました。本製品は2024年度内での発売開始を計画しています。

当社HPにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



CO₂濃縮型小型貫流ボイラ

トピックス 動画公開／アプリ内出店

ブランドムービー『ごみからエネルギーへ。タクマが循環する未来』を公開

ブランドムービー『ごみからエネルギーへ。タクマが循環する未来』（以下、「本動画」）を制作し、公式YouTubeチャンネルにて配信しています。

本動画は、当社グループが建設・運営を行うごみ処理施設における、ごみから電気を生み出すというエネルギーの循環をイメージして、CGと実写、オリジナルの音楽を組み合わせで構成されています。

本動画では、ごみ処理施設が循環型の持続可能な社会を構築する側面に注目し、地域から発生するごみが資源としてごみ処理施設で電気に姿を変えて、再び地域に必要とされるエネルギーとしてかえてくることを表現しました。また、近未来的なごみ処理施設、街をCGで表現し、当社グループの技術で100年先を見据えた持続可能な社会を創るという想いを込めています。



当社HPおよび公式Youtubeチャンネルには
こちらからアクセスしてください

当社HP



当社公式
Youtube
チャンネル



子ども向け社会体験アプリ『ごっこランド』に出店

～新ゲーム「まちをあかるくきれいに」が廃棄物処理分野で初登場～

株式会社キッズスターが提供する子ども向け社会体験アプリ『ごっこランド』に、新ゲーム「まちをあかるくきれいに」を出店しました。廃棄物処理分野では当社が初めての出店となります。

『ごっこランド』は、子どもたちが大好きな“ごっこ遊び”を通して、インタラクティブに“社会のしくみ”が学べる無料の社会体験アプリです。利用者は、子育て世代（ファミリー層）の約3分の1にあたる約600万世帯にのびります。

昨今、地産地消の取り組みなど循環型社会の実現に向けて地域におけるごみ処理施設の担う機能・役割が大きくなっていることを背景に、次世代を担う子どもたちを含む地域の皆様に、ごみ処理に関する理解を深めていただくとともに、ごみ処理施設をより身近に感じていただきたい、という想いから、「ごっこランド」へ出店しました。

当社グループでは、引き続き事業活動を通じてお客様や社会の課題を解決することとあわせて、環境・エネルギーの分野に関する学びの機会を提供し、理解を促進するための取り組みを行ってまいります。



メインビジュアル

当社HPおよびごっこランド公式HPには
こちらからアクセスしてください

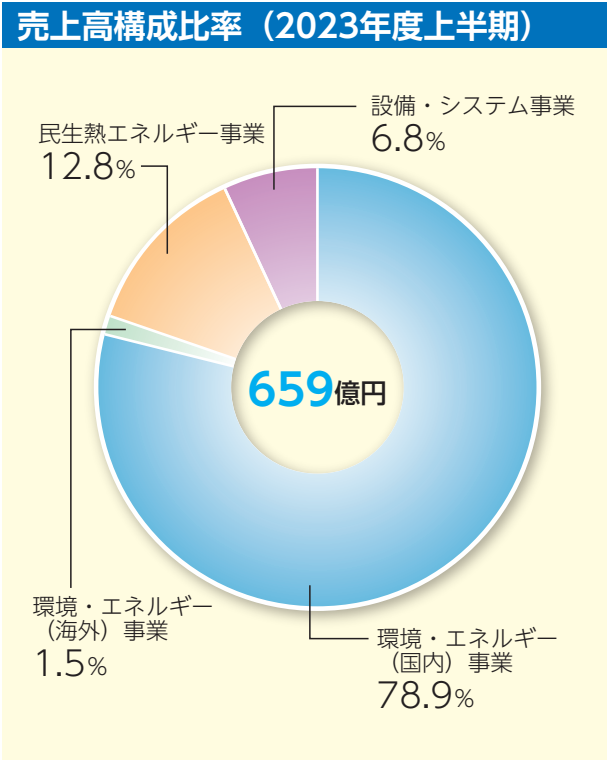
当社HP



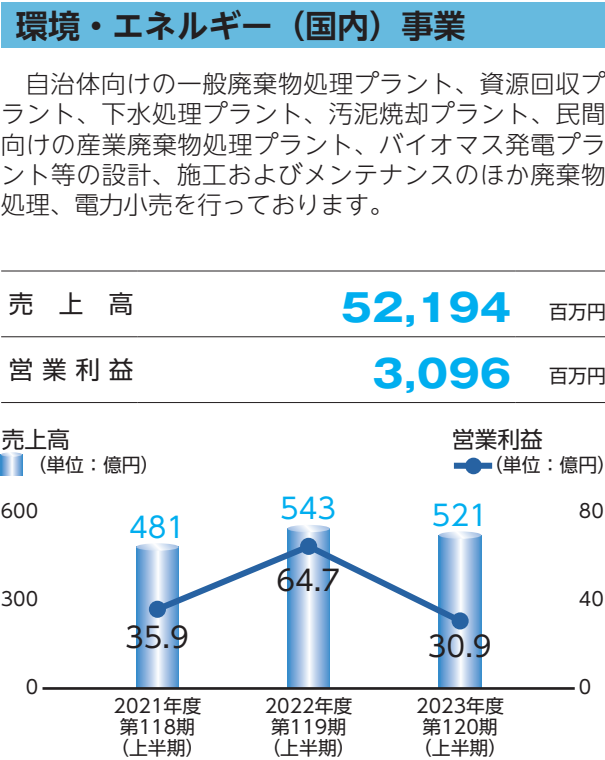
ごっこランド
公式HP



事業の概況（上半期）



一般廃棄物処理プラント
（大田清掃工場第一工場）



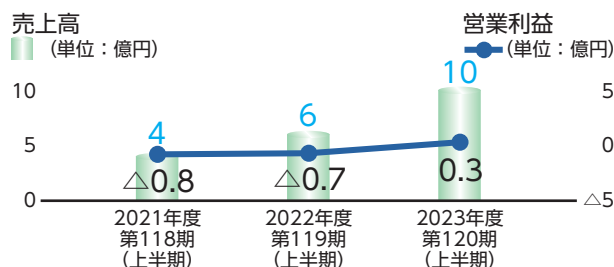
バイオマス発電プラント
（SGE土岐バイオマス合同会社）

環境・エネルギー（海外）事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス（サトウキビの搾りかす）を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

売上高 **1,003** 百万円

営業利益 **32** 百万円

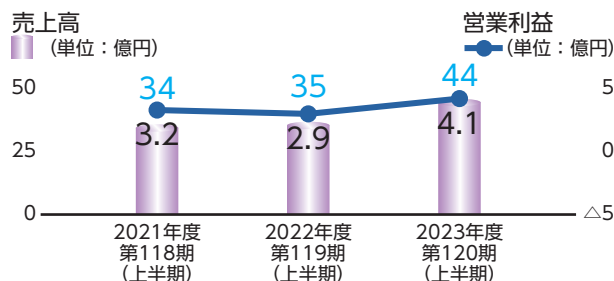


設備・システム事業

大学、研究所、病院向けの建築設備、空調設備や半導体産業向けのクリーンルーム、ケミカルエアフィルタ、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っております。

売上高 **4,471** 百万円

営業利益 **414** 百万円

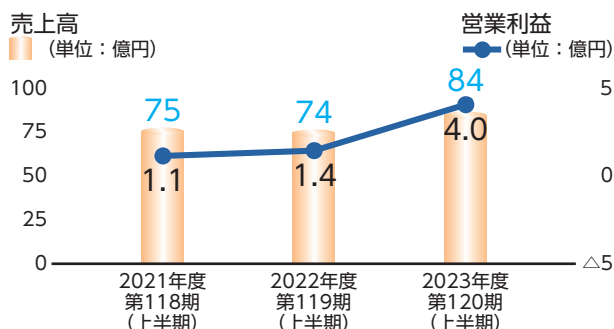


民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水発生機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の製造、販売、メンテナンスを行っております。

売上高 **8,441** 百万円

営業利益 **404** 百万円



蒸気ボイラ
エクオス シリーズ
EQi-6001型



水素焚 真空式温水発生機
ゼロエミッション パコティンヒーター
GTL-300ZE型

会社概要

(2023年9月30日現在)

設立 1938年6月10日
資本金 13,367百万円
本社の所在地 〒660-0806
兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL 06-6483-2609

事業所

大阪事務所 〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番26号 (JMFビル大阪福島01)
TEL 06-7670-6110
東京支社 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目9番1号 (芝浦ルネサイトタワー)
TEL 03-5730-9200
北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 (大五ビル)
TEL 011-221-4106
東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番2号 (NMF仙台青葉通りビル)
TEL 022-222-3042

中部支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号 (大東海ビル)
TEL 052-571-5211
九州支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目1番1号 (薬院ビジネスガーデン)
TEL 092-717-2828
播磨工場 〒676-0008 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号
TEL 079-443-6511
台北支店 台湾台北市114-92内湖區基湖路35巷16号7樓A1
TEL +886-2-8752-3838

グループ会社

(2023年9月30日現在)

国内

株式会社日本サーモエナジー
各種ボイラ及び関連機器の製造・販売
株式会社タクマテクノス
環境施設等の維持管理運営及びボイラ、環境設備等の設計・施工及び監理
株式会社北海道サニタリー・メンテナンス
下水処理施設等の維持管理運営
株式会社タクマテクノス北海道
ごみ処理施設等の維持管理運営
株式会社サンプラント
空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工及び監理
タクマ・エンジニアリング株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の設計
タクマシステムコントロール株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計
株式会社ダン・タクマ
クリーン機器、ケミカルエアフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置等の製造、販売
株式会社環境ソルテック
水質、排気ガス、土壌汚染等、環境問題関連の分析、計量事業
協立設備株式会社
環境施設・機械設備、産業用ボイラ設備等の設計・施工及び監理
株式会社タクマプラント
各種ボイラ、環境設備等のメンテナンス業務
いわて県北クリーン株式会社
一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務
エナジーメイト株式会社
コージェネ関連システム販売、民生用オンサイト型エネルギーシステムの一括サービス業
株式会社アイメット
人材派遣業、保険事業

株式会社タクマエナジー
電力小売事業
長泉ハイトラスト株式会社
一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営及び維持管理

藤沢ハイトラスト株式会社
ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社
阿南ハイトラスト株式会社
くるめハイトラスト株式会社
ほくたんハイトラスト株式会社
諏訪湖ハイトラスト株式会社
今治ハイトラスト株式会社
町田ハイトラスト株式会社
函館ハイトラスト株式会社
住之江ハイトラスト株式会社
かしはらハイトラスト株式会社
うわじまハイトラスト株式会社
隠岐の島ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

株式会社テクノリンクス
環境リサイクル装置の設計・製作・販売及び保守・点検
栃木ハイトラスト株式会社
産業廃棄物の処理業務
株式会社エコス米沢
産業廃棄物の最終処分業務

海外

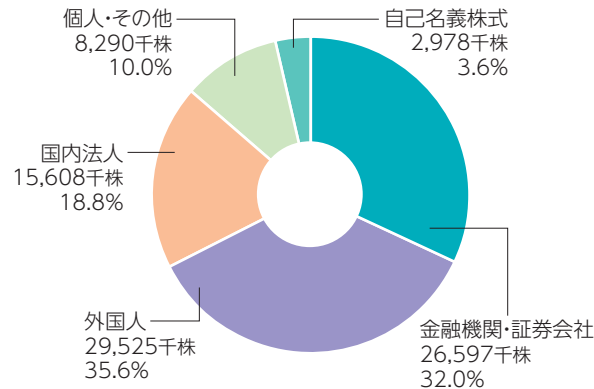
臺田環工股份有限公司 (台湾)
ごみ処理施設等のメンテナンス業務
SIAM TAKUMA Co., Ltd. (タイ)
エネルギー及び環境関連プラントの販売及びアフターサービス

株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	321,840,000株
発行済の株式総数	83,000,000株
株主総数	6,987名

所有者別分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,916	11.1
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,842	4.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,943	3.7
光通信株式会社	2,786	3.5
日本生命保険相互会社	2,706	3.4
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,700	3.4
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,501	3.1
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,108	2.6
タクマ共栄会	2,004	2.5
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/25/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	1,667	2.1

(注) 1. 当社は2023年9月30日現在、自己株式2,978千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式2,978千株を控除して計算しております。

【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 75株を買増しして、100株にすることができます。

単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 25株を当社に売却することができます。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別口座管理機関へお申し出ください。なお、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。

情報満載！ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。株主・投資家の皆様に見ていただきたい情報を充実させておりますので、ぜひアクセスしてください。

<https://www.takuma.co.jp/>



株 主 メ モ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (株式に関する諸手続きのお問い合わせ)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) について のお 問 い 合 わ せ	TEL 0120-524-324 (電子提供制度専用ダイヤル)
公 告 方 法	電子公告 (当社のホームページに掲載) (https://www.takuma.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所 (証券コード：6013)
単 元 株 式 数	100株

1. 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。
3. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関にお問い合わせください。



VEGETABLE
OIL INK